

新型コロナウイルス感染症の影響 全国アンケート結果報告

県保険医協会が5月に実施した会員調査により、医療機関の経営悪化が深刻である状況が明らかになった。調査は5月7日～14日に保団連の全国調査に協力して行い、全国では6881件(6月4日発表分)、長野県では267件から回答があった。

長野県保険医協会では今回の調査結果をもとに、新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書を県と内閣総理大臣等に送付した。(1面に掲載)

なお、本紙では調査項目や自由意見について一部抜粋して掲載している。調査結果全文については、県保険医協会ホームページを参照されたい。

回答があった医療機関の内訳		
分類	長野県	全国
医科(内、病院)	187(8)	5157(274)
歯科	80	1724
合計	267	6881

1. 診療状況

(1) 外来患者数の状況

外来患者数について医科歯科ともに9割ほどの医療機関で「減った」と回答。そのうち約6割の医療機関で前年同月比30%未満の患者減少率があると回答。30%以上の減少と回答した医療機関は医科26%、歯科21.6%となった。

外来患者数	医科		歯科	
	長野県	全国	長野県	全国
減った	86.1%	86.9%	92.5%	87.7%
増えた	1.0%	1.3%	1.3%	1.7%
変化なし	11.0%	7.7%	5.0%	9.2%
無回答	2.0%	4.1%	1.3%	1.4%

患者減少率	医科		歯科	
	長野県	全国	長野県	全国
～30%	69.0%	64.3%	74.3%	67.0%
～50%	20.0%	22.6%	18.9%	19.9%
～70%	5.0%	6.0%	2.7%	3.7%
70%以上	1.0%	1.9%	0%	2.7%
無回答	5.0%	5.3%	4.1%	6.7%

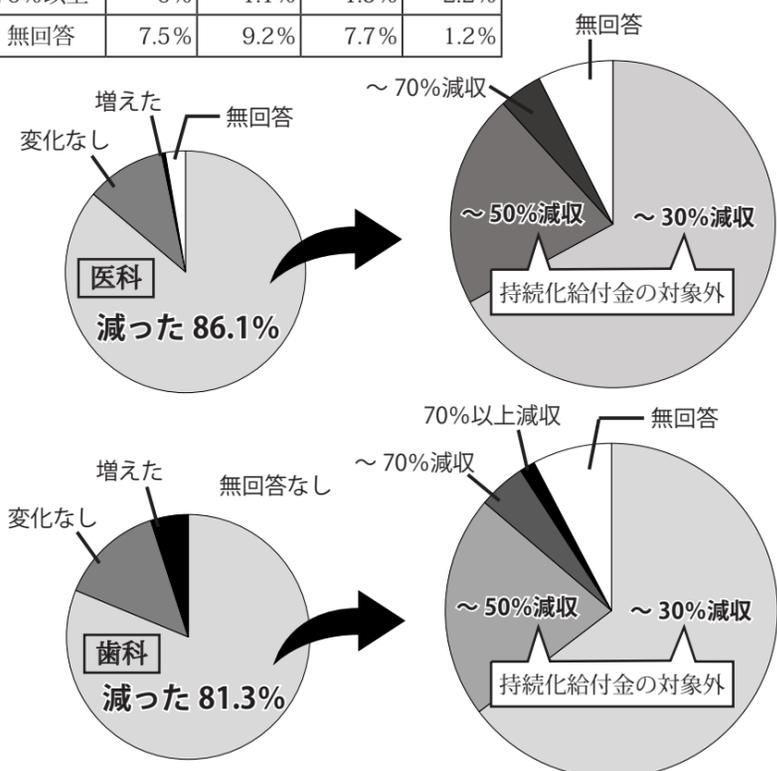
(2) 保険診療収入の状況

保険収入	医科		歯科	
	長野県	全国	長野県	全国
減った	86.1%	85.6%	81.3%	82.4%
増えた	0.5%	1.5%	5.0%	3.0%
変化なし	10.7%	7.9%	13.8%	12.4%
無回答	2.7%	4.9%	0%	2.3%

減収率	医科		歯科	
	長野県	全国	長野県	全国
～30%	67.1%	63.5%	64.6%	65.7%
～50%	21.1%	20.7%	21.5%	16.8%
～70%	4.3%	5.5%	4.6%	4.1%
70%以上	0%	1.1%	1.5%	2.2%
無回答	7.5%	9.2%	7.7%	1.2%

4月の保険診療収入の対前年同月比では医科・歯科ともに8割を超える医療機関が減収したと回答した。その内6割を超える医療機関では30%未満の減収と回答。30%以上の減収は医科歯科ともに全体の1/4強となった。

また、持続化給付金の受給対象となる5割以上の減収と回答したのは医科わずか4.3%、歯科6.1%だった。



2. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況

(マスク、手指消毒液、フェイスシールド、防護服)

医科	マスク	手指消毒液	フェイスシールド*	防護服
充足	42.2%	24.6%	26.7%	8.6%
1月以内	43.3%	54.0%	16.0%	18.7%
半月以内	10.2%	15.0%	5.9%	6.4%
1週間以内	2.1%	2.7%	12.3%	12.3%
既に在庫なし	0.5%	2.1%	27.8%	40.6%
無回答	1.6%	1.6%	11.2%	13.4%

歯科	マスク	手指消毒液	フェイスシールド*	防護服
充足	61.3%	41.3%	42.5%	16.3%
1月以内	30.0%	41.3%	25.0%	15.0%
半月以内	7.5%	10.0%	3.8%	2.5%
1週間以内	0%	0%	2.5%	3.8%
既に在庫なし	0%	5.0%	22.5%	41.3%
無回答	1.3%	2.5%	3.8%	21.3%

マスク・手指消毒液は医科歯科ともに約9割・約8割の医療機関で1か月程度の在庫が確保できていると回答。

フェイスシールドは「自作した」といった自由意見もあったが、防護服については「既に在庫なし」が医科歯科ともに4割を超える結果となった。

3. PCR検査について(医科のみ)

PCR検査を依頼したことがある医療機関は全体の3割弱だったが、その内6割を超える医療機関が検査を拒否された経験があると回答。回答があった医療機関の検査依頼件数は総計178件だったが、そのうち3割にあたる55件について検査拒否を受けたとの結果となった。

PCR検査依頼	件数	割合
ある	54	28.9%
ない	132	70.6%
無回答	1	0.5%

PCR検査拒否経験	件数	割合
拒否あり	34	63.0%
拒否なし	20	37.0%

PCR検査拒否について自由意見

- ・発熱した患者が別の内科医の指示で保健所に連絡。PCR検査、発熱外来受診を断られ当院に来院した。
- ・PCR検査の対象だと考えられる人に対しても「近医に受診してください」との保健所の対応である。大変困るし、心配。
- ・県外の人との接触がないと検査できないと言われた。
- ・「東京から帰ってきて数日熱が続いている」と患者が保健所に電話したが、当番医もしくはかかりつけ医に行くように言われ、来た人がいた。もし陽性だったら医院を閉めなければならず、他の患者が困ります。

4. 国や自治体への支援策の要望

要望	医科	歯科
損失補償	29.4%	45.0%
人件費保障	27.3%	28.8%
家賃保証	10.2%	6.3%
特別融資	18.7%	25.0%
納税猶予	24.1%	25.0%
その他	7.5%	3.8%

医科では収入の損失補償や人件費保障を求める声とともに3割弱。歯科では収入の損失補償を求める意見が45%、特別融資が25%と医科と比較して高かった。また、助成金などの申請状況については「申請した」が医科歯科ともに2%台にとどまり、半数以上がともに「申請予定なし」と回答。「申請検討」が3割程度や、申請したいができないという回答もあった。

国や自治体への要望など自由意見(医科)

- ・収入減少にも関わらず、消毒剤等の経費増大、消毒作業等の作業量も増大。少なくとも診療報酬等の消費税はゼロにしてほしい。
- ・訪問診療の電話再診について、臨時的な措置の継続を望む。
- ・持続化給付金の要件が売上の50%以上の減少ですが、20～30%くらいまで下げて欲しい。
- ・コロナ感染が疑われる患者に対するPCR検査を一般医療機関からの要請ではなく、保健所ですぐに対応していただき、件数をもう少し多くして頂きたい。複数の医療機関を受診することがないように、行政からメッセージを出して欲しい。

国や自治体への要望など自由意見(歯科)

- ・保険点数を一時的に1点10円から15円に引き上げる。
- ・感染予防に対する賃金の補助(給付金)
- ・歯科でのPCR検査の件はどうか?緊急時のみの使い捨てのような付け焼刃的発想は止めてほしい。
- ・収入の50%減まではっていないが、やはり減額している。それは3密に注意し、こちらで調整してそうになっているのだが、そこに給付があってもいいのではないか。